

平成 17 年 10 月 6 日

堀 桂子 様

堀様からのお手紙（平成 17 年 9 月 26 日付配達記録付郵便）はアニマルメディカルセンター病院長宛に頂戴し、病院長も拝読致しておりますが、病院長からの指示により、事務長を当職と致します より回答申し上げます。

また、ポン太ちゃんの検査結果、治療内容、薬剤のデータにつきましては別紙を御覧下さいませ。

1. ポン太ちゃんが「肺水腫で入院したのにその病状の変化・治療方法についての説明が土屋獣医師から全くない」

ポン太ちゃんが東京夜間病院に入院された際、入院中、退院時にそのとき対応した獣医師から説明させて頂いており、土屋獣医師は引き続き治療の継続を要す状態でありましたので継続入院のお勧め致しました。

2. 「夕方病院に来るように言われた」

入院手続きが 19 日朝では来院が困難であるとの事でしたので任意のお時間での手続きをお願い致しました。

3. 「翌日、電話を入れると 17 時 30 分に来るよう土屋獣医師から言われた」

酸素療法を止めて状態の変化があるか経過を見てから来院して頂くため夕方にお時間を設定させて頂きました。

4. 「指示通り出向いたのに、またいない。指示された時間に伺っても、時間を指定した獣医師本人がいない。」

当センターは 24 時間診療・完全看護体制をとっております。また、一人の獣医師のみが 1 入院患者を担当する事は出来ませんので 24 時間病院が責任を持って診させて頂いております。

5. 「心配でしたらこのまま連れて帰って昼間また連れてきて土屋獣医師に相談してください。」「私に対処するわけにはいかないんです。」

その日の当直医であります五十嵐獣医師に確認致しました。誠に申し訳ございませんが上記の返答は致しておりませんとの事です。

6. 「やらないとは思うけど、様態の変化によってはこういうことも必要になるかもしれないので…」

当センターは入院時に行う事が予測される治療・検査については、事前にその内容をお伝えした上でお見積りを提示し御了承を頂いて診療代金を領収致しております。

7. 「またまた夜中に預けて何をしたのか」

前述と重複致しますが入院時に対応した獣医師から御説明させて頂きました。治療に追加や変更がなければ治療は継続して行われるため再度説明はしておりません。

8. 「何が原因でこのような症状が出たのか」

原因が確定していないため、その時点では判定できません。

9. 「病院ぐるみで担当獣医師と一度も面会させようとしなかったことからして悪意を覚えずにはいられません。」

前述しましたとおり一人の獣医師が担当する制度ではなく、患者さんは病院として診させて頂いております。

10. 診療の経緯について

8月18日、東京夜間病院にてポンタちゃんが呼吸状態が悪いとの上診を受け診療させて頂き、身体一般検査にて心雑音、肺ラッセル音の聴取、吸気性努力性呼吸、咳、チアノーゼを認め、及び胸部レントゲン検査上心臓陰影拡大が認められ、肺水腫と診断し、お預かりして酸素療法、利尿剤、気管支拡張剤、血管拡張剤投与の治療を致しました。

翌朝19日、ポンタちゃんを東京夜間病院から搬送し、センター病院にて継続入院して頂きました。肺ラッセル音、吸気性努力性呼吸は引き続き認められ、超

音波検査上でも僧帽弁・三尖弁閉鎖不全が認められましたので、引き続き肺水腫、心臓疾患に対しての治療を行いました。嘔吐症状がみられましたので、それに対しては消化管運動促進剤、制酸剤の投与、電解質バランスを保つ為、カリウム補助剤の投与、食欲を保つ為食欲増進剤の投与を開始致しました。

ポン太ちゃんに対しては年齢と病気の特徴を考慮し、環境ストレスを軽減する事が良いと考え、20日に退院、自宅で治療して頂きました。

11. 「入院中負傷した経緯について」

この件につきましては堀様から御連絡により判明した事実であります。どのようにして、いつ負傷したか不明で病院でのそのような負傷は全くありません。

全スタッフ全力でポン太ちゃんを診療しましたが、今回このような結果になり、非常に残念であります。重ねて堀様のお気持ちをお察し申し上げます。御家族皆様の悲しみが一日も早く癒されることをお祈りしつつ、スタッフ一同心からお悔やみ申し上げます。

アニマルメディカルセンター
事務長

堀 様

ポン太 ちゃん 上診時のデータを下記の通りご報告致します。

<上診時身体一般検査 2005年8月18日>

体温	37.8℃	栄養状態	100%
心拍数	180	股動脈圧	100%
呼吸数	42	体重	2.86kg

<検査項目>

血液一般検査	○	レントゲン検査	○	細胞診	
血球検査	○	超音波検査	○	内視鏡	
電解質検査	○	心電図検査		CTスキャン	
生化学検査	○	糞便検査	○	組織病理	
尿検査	○	眼検査		その他	

上記検査を行ないました。数値、所見については別紙参照願います。

<治療>

酸素療法	塩酸ヒドラルジン	酢酸リンゲル液静脈内輸液
フロセミド	シメチジン	生理食塩水静脈内輸液
ニトロプロシド	エリスロマイシン	(ビタミンB群カリウム添加)
ベナゼプリル	メクロプラミド	ドーパミン
テオフィリン	グルコン酸カリウム	心肺蘇生
ニトログリセリン塗布	スピノラクトン	
	心臓サポート②缶・CKW	

<処方薬>

ベナゼプリル	テオフィリン	シメチジン
塩酸ヒドラルジン	グルコン酸カリウム	シプロヘブタジン
フロセミド	メクロプラミド	ビオフェルミン
スピノラクトン	エリスロマイシン	

今回の検査データについてご報告申し上げます。

アニマルメディカルセンター

獣医師：土屋 中村 上野 五十嵐

アニマルメディカルセンター

〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東2-890-10

TEL: 044-433-5155

www.amc-japan.com

<レントゲン所見>

心臓陰影拡大 肺野陰影度上昇

肝臓陰影拡大 前立腺陰影拡大

<超音波所見>

胸部: 短縮率55% 左心房:大動脈=1.7:1.1mm 左心室壁6.0~6.2mm

僧房弁肥厚・逸脱・逆流 三尖弁肥厚・逸脱・逆流

左心室・左心房・右心房拡張

腹部: 肝臓びまん性高エコー像 前立腺肥大(約1.9cm)

血液検査	8/18(21:30)	8月19日	8/22(0:10)					
BUN	40	35	60					
BS	68	94	98					
PCV	40	45	48					
WBC	0.5	1.0						
II	1	1						
TP	4.7	5.8	6.4					
SR		+						
Fib		<100						
電解質	8/18(21:30)	8月19日	8/22(0:10)					
Na	146	146.7	141					
K	4.0	3.36	3.65					
Cl	110	110						
白血球		8月19日	8/22(0:10)			尿検査	8/18(21:30)	
Count		21000	28800			ROUTE	穿刺	
Meta						APPEAR	薄黄	
Band						USG	1.010	
Seg		17020				pH	7.0	
Ly		2590				PRO	++	
Mo		1070				GLU	—	
Eo		200				KET	—	
Ba		120				BIL	—	
大Ly						OB	—	
RBC size		異型リンパ				URO	—	
Coler		球 1.2%				尿沈渣		
Shape		多染性(+)						
Ret(凝集型)								
Ret(点状型)								
PLT		425000	568000			血液ガス	8/22(0:10)	
赤血球		8月19日	8/22(0:10)			PO2	47.6	
Count		7.48	7.67			PCO2	27.2	
Hb		15.8	16.8			TCO2	22.3	
MCV		64.8	65.6			iCa	1.15	
MCHC		32.6	33.4			Hb		
MCH		21.1	21.9			PH	7.520	
生化学	8/18(21:30)	8月19日				HCO3	21.5	
BUN	37.3	34.4				BE	0.7	
CRE	0.7	1.1				SO2	85.3	
GLU	90					凝固検査		
T. BIL	0.1					APTT		
ALB	1.5	2.05				PT		
ALT	31					便検査		
ALP	284					虫卵:D		
AMY	1200<					:C		
Ca	6.6	9.19						
P	5.7	5.2						
CHOL	266	278				直腸細胞診	消化テスト:L	
TRIG	96						:D	
NH3	49						:I	
AST	28						クリプトスポリジウム	
LIPA								

血液検査	8月22日	8月23日						
BUN	60<	60<						
BS	102	79						
PCV	41	48						
WBC	1.0	1.0						
II	1	1						
TP	7.2	9.2						
SR	+	+						
Fib	200							
電解質	8月22日	8月23日						
Na	140.2	152.3						
K	4.14	3.70						
Cl	102	107						
白血球						尿検査		
Count						ROUTE		
Meta						APPEAR		
Band						USG		
Seg						pH		
Ly						PRO		
Mo						GLU		
Eo						KET		
Ba						BIL		
大Ly						OB		
RBC size						URO		
Coler						尿沈渣		
Shape								
Ret(凝集型)								
Ret(点状型)								
PLT						血液ガス		
赤血球						PO2		
Count						PCO2		
Hb						TCO2		
MCV						iCa		
MCHC						Hb		
MCH						PH		
生化学	8月22日	8月23日				HCO3		
BUN	105.5	154.0				BE		
CRE	3.5	5.9				SO2		
GLU						凝固検査		
T. BIL						APTT		
ALB	2.63	3.34				PT		
ALT						便検査	8月22日	
ALP						虫卵:D	カンジダ胞子(+)	
AMY							カンジダ菌糸(+)	
Ca	10.52	10.87				:C	カンジダ胞子(+)	
P	12.5	16.6						
CHOL	280	341				直腸細胞診 8月22日	消化テスト:L	—
TRIG							:D	—
NH3						細胞数(+)	:I	+
AST						粘膜上皮細胞のみ	クリプトスポリジウム	
LIPA							—	